

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2023 (令和5) 年 1 月 20日 / 新春号外号

向日葵はわが街のシンボル



風早北部地域ふるさと協議会

太田市長に防災関係の要望書を 提出し意見交換協議を要請しました

当会では、去る1月16日に太田和美市長宛てに今年度の防災関係の要望書を提出し、今後、市長及び危機管理部長との間での協議を通じての柏市からの回答を要請しました。以下に要望内容（抜粋）をご紹介します。また、柏市から本件への回答があり次第、本紙面で改めてご紹介してまいります。



柏市の防災活動に関わる風早北部地域住民 からの要望（協議議題の抜粋版※）

※市長宛て要望書面の内容からの抜粋版

議題(1) 当風早北部地域内の大地震発災時のトリアージを含む緊急治療医療体制の改善について

当風早北部地域は、大規模医療施設がないことを背景に、災害発生時には地域内に医師や看護師が最悪いなくなるような事態も想起され、平時では助かる命が災害時には助からないリスクが非常に高くなるとの不安があることから、こうした事態を脱却することが最優先であると考えます。現時点で柏市と市医師会等関係団体との間で、トリアージを含め上記災害緊急時の市民の治療・医療体制につき、問題解決に向けた協議がどの程度進捗しているかにつきうかがいます。

なお、当地域内の災害時に医療施設・医療従事者不足を解消するためには、医療施設を地域内に開設することが欠かせないものと考えます。セブンパークアリオ柏がその候補地として考えられる一方、帰宅困難者等来場者での混乱を想定し、それ以外の代替候補地の協議も行っていくことを期待します。

議題(2) 市の行政無線の部分的放送機能を有効に活用いただくことについて

市内行政無線設備の部分的放送使用が物理的に実現したことにつきまして、貴所防災ご担当部署職員に方々の迅速なご対応を高く評価します。私どもからは、柏市配信メールでの案内とともに、以下のような内容で行政無線の部分的活用を図っていただきたいと思います。

- ① 行方不明(徘徊)者の該当地域への迅速な周知
- ② 台風等の自主避難所設置の広報
- ③ 各地域実施の一斉防災訓練時の案内
- ④ 電話 de 詐欺情報の周知
- ⑤ 災害発災時の人命に関わる情報に加え、住民への災害情報の周知 など

議題(3) 市内一斉防災訓練の実施(現在の柏市主催総合防災訓練の抜本的な見直し)について

現在、柏市が毎年11月に総合防災訓練と称して実施している防災訓練については、貴所関係部署での準備を含めて相当な業務負担を費やされていますが、その労に比べての実際の効果については極めて不透明であり、その継続実施には疑問が多々あると私どもは評価しております。

風早北部地域ふるさと協議会におきましては、現行の柏市防災計画をより実効ある内容にするための検証の術(スベ)は、市内全域を対象により広範囲で全市民参加型の訓練を実施することなしに達成は難しいと考えております。上記を踏まえ、毎年、より広範囲な市民参加型防災訓練の実現が欠かせないものと思います。地域住民や住民避難所・避難場所となる学校・近隣センター、更には柏市災害対策本部(柏市本庁舎設置)・同地区災害対策本部(各近隣センター設置)・消防・警察・病院等と連携した訓練となることが必要です。

議題(4) 住民、特に高齢者への自助防災の啓発活動や支援の実施について

柏の住民、特に高齢者に関しては、デジタル情報に対する不慣れや抵抗感もあって、防災に関する知見の習得が概して後発となり、もって大規模災害が発生した際に大きな怪我をしてしまうなどで災害の犠牲となる可能性も高くなっています。災害時に医療体制が混乱する中では、発災に際して怪我をせず難を逃れることが非常に重要であると捉え、私どもは以下のような内容を強く要望いたします。

① 独居高齢者宅への家具転倒防止に係る作業や物資経費の補助金支給策の導入について

有償で作業を他に依頼する際の経費に関わる補助金制度、あるいは必要な防止装置(機材)の無償配給につきまして、その実現を前向きにご検討願います。

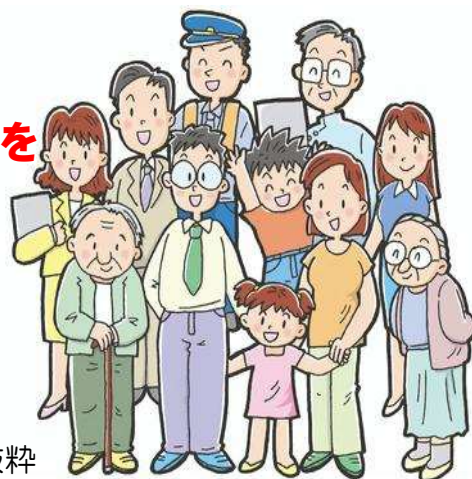
② 家具転倒防止措置の実施を啓発する市民向け関連講習会の定期的実施について

一般市民や各地域団体の防災担当役員・防災ボランティア従事者に標題の措置に関するノウハウを広く教宣することを通じ、発災時の犠牲者や怪我人を少しでも減らし、二次災害に及ぶことを防げるよう、講習会を定期的の実施されることが大切であると考えます。

議題(5) マイカー及びマイテント避難の拡充を一刻も早く実現いただくことについて

柏市内の指定避難所は、感染症対策として従前の避難者収容数を確保することが難しい状況です。感染症対策はもとより、事情があって大きな空間に滞在することが困難な住民、更には、家族同様のペットとの同伴避難を切望する住民感情を考えた場合、マイカー避難及びマイテント持参での避難を推奨することが有効であると考えます。今後、このマイカー&マイテント避難の一刻も早い実現が必要です。

私たち**風早北部地域**の住民は
自然災害に強いまちづくりを
公約※とする
太田市長に期待しています



※2022年市議会での施政発言より抜粋